



# 市議会だより



荒々しく 勇ましい 池月太鼓！ (池月小学校)

12  
月  
定  
例  
会

## 主 な 内 容

- 一般質問 (農政大転換への対策等) ..... 2~8ページ
- 話し合う協働のまちづくり条例等可決 ..... 9~12ページ
- 会派・常任委員会活動報告 ..... 13~16ページ

# 一般質問



平成25年第4回大崎市議会定例会は、12月5日に招集され、12月17日までの13日間の日程で行われました。

なお、市政に対する一般質問は、12月13日、16日、17日（3日間）の日程で、議員定数34人中、24人が市長の見解を問いました。要旨は次のとおりです。

**答** 関係機関との調整も完了

の。 救急車専用高速道退出路の建設は、新大崎市民病院開院までに完成する。

**問** 東北自動車道から県道坂本古川線に接続する救急車専用高速道退出路の建設は、新大崎市民病院開院までに完成する。



相澤 孝弘

**問** 市民要望が高い、狭い道路の維持補修への考えは。

**答** 幹線以外の狭い道路で、舗装の打ち換えが必要な路線を拾い上げ、補修計画を策定し早急に対応していく。

## 狭い道路等の整備補修

し、開院に間に合うものと考えている。

## 新大崎市民病院

**問** 新市民病院で、利用者から駐車料金を徴収する計画は、いかがなものか。

**答** 開院後当面は、交通渋滞への対応と通学児童生徒の安全確保を最優先とし、一定期間の駐車利用状況を把握して対応する。



小沢 和悦

## 高齢者見守り 相談室等の事業展開

**問** 先進地である東京都墨田区に学び、早期に高齢者見守り対策を実施すべきである。

**答** 現状の大崎市高齢介護課の体制では困難であり、必要な体制をとる考えは。

**答** 準備段階ではあるが、地域包括ケアシステムでも検討し、「第6期大崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の中で具体化に努めたい。

## 米生産調整の廃止

**問** 安倍政権での米政策の大転換方針は、TPP参加による米輸入を前提に、これまで

国が責任を持ってきた安定供給と価格安定を放棄するものである。農業団体や自治体との相談もなく打ち出したことに抗議すべきではないか。

**答** 国に対してもしつかり要望して参りたい。



救急車専用高速道退出路の建設現場（古川地域飯川地区）

## 市議会ウェブサイトのお知らせ

大崎市議会では、インターネットのウェブサイトを開発しています。なお、今後も定例会の会期、一般質問発言通告書、議会中継をはじめ数々の情報を提供していきます。

また、定例会、委員会などの会議録の検索も出来ますので、是非ご覧ください。

◎アドレス

<http://www.city.osaki.miyagi.jp/gikai/>

地域特性を生かした  
地域づくり

**問** 地域内交通(旧6町域)は整備が整いつつあるが、地域外をつなぐ交通整備への住民要望も強い。地域外交通実現の見通しはどうか。  
**答** 平成26年4月に6地域全てで地域内交通が運行される。この制度が定着、充実した上で、関係機関と協議していく。

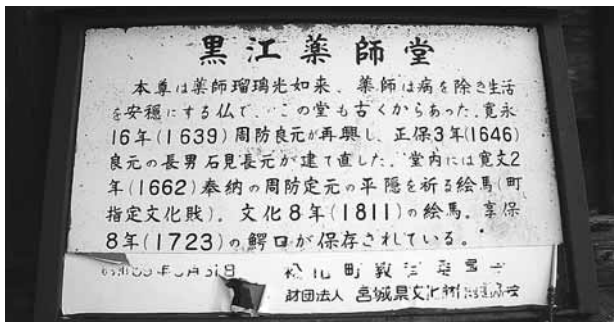


木内 知子

交通網整備

**問** ①歴史を標榜する松山・岩出山地域の指定文化財の標柱、説明看板、誘客案内板の整備計画は。②伊達家をつなぐ松山・岩出山地域と涌谷町とを結ぶ「伊達大崎三都(みくに)物語」を活用した観光振興の進捗は。  
**答** ①関係部局と連携し検討したい。②震災直前に企画書が完成した。今後、本格的に作成に取り組んでいく。

作成に取り組んでいく。



整備が待たれる説明板(松山地域)



八木 吉夫

産業振興

**問** 消費税増税に伴う経済情勢をどう捉えているか。  
**答** また、景気振興策をどのように考えているのか。  
**答** 税負担が増えることにより景気が悪くなり、企業の業績にも悪影響が出るとも言われているので、国の経済対策を注視し対応していく。  
**問** 森林資源を生かしたバイオマス構想の進み具合は。  
**答** 熱利用事業として、加護

坊温泉さくらの湯への木質チップボイラー導入を計画している。  
また、木質バイオマス発電については導入の可能性を検討していく。  
**問** 中心市街地の再開発をどのように進めるのか。  
**答** 官民協働が重要であり、関係者及び商店街振興組合などと連携し、手法を検討する。



只野 直悦

新たな文化財指定

**問** 県の伝統・伝承芸能記録保存事業では、市内分は25の伝承芸能があり、県指定が1つ、市指定が7つである。  
新市以降の新たなものはないが、これを機会に、教育委員会条件整備を行い、本市各地域に伝わる古典芸能を是非、無形民俗文化財に登録して、伝統文化を守っていく姿勢を示すべきと思うが。  
**答** 基礎資料は整備されてい

るが、多くの団体が会員の高齢化と後継者不足で存続が危ぶまれている。保存継承のためにも文化財保護委員会の意見を聴き、各団体の意向を踏まえて方向性を見出したい。  
**掲載以外の主な質問項目**  
・ 農政の変革と本市水田農業  
・ スポーツ振興と健康づくり



佐藤 弘樹

大崎市の将来像と  
人財育成

**問** 近い将来に向け、活力ある市政への事業推進の考えは。  
**答** 総合計画に基づき、4つの重点プロジェクトを推進し、復興実現に向け取り組みたい。  
**問** 市民協働を見据え、本庁支所職員間での認識はどうか。  
**答** 協働によるまちづくりは、携わる職員が統一した意識で業務遂行する必要があり、温度差がないよう留意したい。

**問** 全職員を対象とし積極的

に施策提案を受け、市政運営に活かす制度創設への考えは。  
**答** 現在、改善運動で提案を受けており、着実にコスト削減と人材育成に努めたい。  
**掲載以外の主な質問項目**  
・ 新年度予算編成と留意点  
・ 給食センター構想の進捗  
・ 音楽諸事業推進と連携策  
・ 鹿島台駅周辺整備に伴う道路延伸及び宅地開発



謡曲を伝承している「鉢の木会」(田尻地域)



佐藤 和好

## 新たな視点での 住宅リフォーム補助制度

**問** 現在の住宅リフォーム補助制度は今年度で終了とされているが、震災復旧のニーズはまだ多くあり、今春からの消費税率アップによる経済の減速も予測されている。

**答** 家屋の安全性確保、市内産諸資材の活用による産業振興推進や経済対策として、本制度終了方針を新たな視点で見直し、復活する考えは。平成23年度に創設した事

業で、大震災後の住宅修理にも大きな手助けになったと考えるが、25年度で終了する。しかし、市民の存続要望が強い事業でもあり、26年度より災害復旧事業を主とした新たな補助制度を創設し、関連施策も調査研究したい。

- 掲載以外の主な質問項目
- 26年度予算編成と消費税
- 通学路安全確保対策



齋藤 博

## 三本木県有地の活用策

**問** 三本木県有地について、平成15年の計画中止時に、県では地元提案を優先して検討することとし今日に至っている。

**答** 三本木県有地について、平成15年の計画中止時に、県では地元提案を優先して検討することとし今日に至っている。活用事業を県から市に移して実施したい旨と、これまでの経緯を県幹部に談判し、具体的な活用策の早期決定を改めて求めるべきでは。被災した沿岸部の震災復旧工事への利用が可能か、調

査及び検討を実施したようであるが、まだ決定はされていない。これまでの経過も含め、県と協議し活用方法を探りたい。

- 掲載以外の主な質問項目
- 保育園、幼稚園の芝生化
- 避難場所となる公共施設の既存受水槽を利用しての飲料水確保



整備が待たれる県有地（三本木地域）



大山 巖

## 1級河川の管理体制

**問** 昨今の気象変化は、想定外の猛威をもって世界各国を襲っている。集中豪雨や台風の異常気象で300〜500ミリの雨量となった場合、現在の河川では全く対応できない状態となる。

**答** 河川の改修、河床の浚せつ、立木などの除去事業を早急に実施し、大洪水による大惨事を防止するよう国や県に環境整備を要望すべきと思うが。

**問** 国土交通省管理河川は、堤防除草及び高水敷樹木伐採計画で、また県管理では河川カルテ及び維持管理計画で、計画的な維持管理とゲリラ豪雨対策としての河道掘削を重点的に実施している。

**答** 今後も定期的にパトロールしていただきながら、県とも連携を図りゲリラ豪雨に対応していきたい。



江合川に生い茂る樹木



小堤 正人

## 安全・安心とまちづくり

**問** 原発政策に係る自治体首长としての真意は。

**答** 福島第一原子力発電所事故の経験から、事故が発生した場合の影響は広域に及ぶ。原発に依存しない、持続可能なエネルギー社会を目指すことは国民の願いであり、市民の安全・安心を守るために最大限の努力をしたい。

**問** 女川原発再稼働についての考えは。

**答** 原子力規制委員会は新たな規制基準を施行した。本市も50キロメートル圏内の自治体として、どのような意思決定が可能なのか、県や周辺自治体と情報共有を図りながら、しかるべき時期に適切な判断を行いたい。

**問** 市有地の売却推進策は。

**答** 4年間で約1億5千万円の売却を行っている。民間への売却委託も検討したい。



関 武徳

## 農政の急変に対する 対応と戦略

**問** 政府が決定した「新たな米政策」を受け、今後の戦略と担い手育成策、飼料米や大豆、麦転作の見通し、6次産業化への影響と課題の認識は。

**答** 所得減少の懸念の一方で、生産の自由度が与えられる。農地集約化や直播栽培などの様々な営農努力によるコスト削減と、市独自の支援策を検討したい。

飼料米については、主食用

米転用が基本で、耕畜連携による国の交付金上乗せに加え大豆や麦については、JAや地域農業再生委員会などと連携し、出口対策も含め生産振興を図る。

6次産業化は、地場産品を活用した加工品、特産品開発の支援を未来産業創造おおさきなどと連携しながら、商工業を含めた異業種連携への支援と強化に取り組みたい。



佐藤 講英

## コメ政策の大転換と 市長の政治姿勢

**問** 減反の廃止を中心とする農家の大規模化で、本当に大崎市の土地利用型農業に競争力がつくのかについては疑問がある。

フタを開けてみれば、一部の農業法人以外、コメ農家は壊滅という状況になる可能性があることも指摘されている。

今後の農業への影響を考え、古川農協、みどりの農協、いわでやま農協、農業委員会と

本市農業部門がワンフロアで一体となり、農家・農民や消費者のため、50年のコメ政策の大転換に対応できるような体制を整備すべきでは。

**答** 大崎地方の他自治体においても、JAや農業委員会が同フロアで業務を実施している自治体もある。

それらを参考にしながら、本市の場合は3JAがあることから、しっかりと協議していく。



新米等級検査の様子 (松山地域)



中鉢和二郎

## 大崎市流域地域自治組織

**問** 自治組織が、地域コミュニティ振興のために、今後コミュニティビジネスなどの収益事業に取り組むケースも考えられるが、市としてのように関わるのか伺う。

**答** 公民館を利用した物販などには法的な制約もあるが、趣旨が営利目的ではなく、地域振興のためというのであれば、課題を整理しながら支援したいと考えている。

**問** 公民館屋根への太陽光発電装置の設置や、地域の小川に水力発電装置を設置して発電事業をするケースはどうか。

**答** 自治組織が事業主体になることも可能ではあるが、具体的な検討や各種申請手続きなどは、事業主体での実施を想定している。

**掲載以外の主な質問項目**  
・まちづくりへのICT活用



「大貫かんぼやま喫茶・縁側」って楽しい！（大貫公民館）



鎌内つぎ子

## 子ども医療費の助成拡大

**問** 子どもの医療費助成について、周辺自治体の多くは中学校卒業まで助成をしている。本市では、合併当初に比べ人口が3千435人減少しているが、人口減少に歯止めをかけるためにも財政調整基金106億円を取り崩し、中学校卒業まで通院、入院ともに早期に新年度から医療費助成の拡大をすべきでは。

また、所得制限も撤廃すべ

きと考えるがどうか。

**答** 子育て支援は、総合的に考えている。

子どもの医療費拡大については、国や県に財政支援を強く要望しながら、拡大の方法などを検討したい。

また、所得制限の撤廃は難しいと考えている。



高橋 憲夫

## 人口減少問題と まちづくりとの整合性

**問** 20万都市構想というが、すでに予想を超えて減少している地域もある。人口シミュレーションは行っているのか。  
**答** 総合計画策定時の平成19年度に行った。

**問** 人口減少は3段階でやってくるが、中山間地域はすでに3段階目に入っている。そのまちづくりはどうするのか。  
**答** 中山間地の得意技は、森林と居住地域が併存すること

である。それをアピールし、再生可能エネルギー活用のもちづくりを全国に発信する。

**問** 中心市街地の中心性とは。また、復興まちづくり計画で賑わいは取り戻せるのか。  
**答** 中心性とは、市民が生活に必要なサービスが集積しているところである。震災のピンチをチャンスに変えて復元集積する。



三神 祐司

## かぶくりたからえ 蕪栗宝江用水路の改修

**問** 田尻蕪栗宝江用水路の1期地区工事については、県営ため池等整備事業として、平成17年度より調査業務が開始され25年度で完了する。2期地区工事については、事業の見通しが立っていない。  
しかし、この事業は合併自治体への県支援事業なので、本市は県に対し、約束事はしっかり守るように強く訴えるべきではないか。

**答** 全体延長3.7キロメートル中、約1.6キロメートルの1期工事は、県の財政難で工事期間が延期されており、平成25年度をもって事業完了する。今後は、残り2.1キロメートルの整備について、地元及び県・関係土地改良区と整備手法などを協議しながら、早期着工ができるよう訴えていく。



早期改修が待たれる「田尻蕪栗宝江用水路」



山田 和明

## 汚染牧草・ 稲わら処分の対応

**問** 県内の畜産農家は、汚染牧草・稲わら処分が出来ない状況下で、苦悩している。  
早急に本市、栗原市、登米市、加美町などの関係首長が、問題解決のために協議すべきと考えるがどうか。

**答** 一般廃棄物の処理は、大崎地域広域行政事務組合で共同処理事務をしていることか

ら、構成自治体との協議も必要となる。  
4自治体などが連携した取り組みを実施することは、有益な手段として受けとめたい。

また、放射能で汚染された廃棄物に必要な施設への整備は、一般廃棄物と同様に国の責任で推進すべきとの考えから、必要な経費全額の財政支援を求めていきたい。



集積された汚染牧草



佐藤 勝

## 市民要望の高い 市道等の整備

**問** 市民の身近な要望活動への対応の事務改善と、まちづくり基金積立額3億2千万円の財源移行で、早急に整備をすべきでは。  
**答** 要望への事前、事後報告や文書での回答など、提案されたようなルールを市民に示したい。財源は一定のルールをつくり、優先的な対応を考えた。

**問** 職員のやる気を引き出す人事管理の考えは。  
また、プロジェクトチームの設置と専門職化、希望降任、地域課題を把握する職員を養成してはどうか。  
**答** プロジェクトチームと満足度調査を取り入れ、人材育成方針にのっとり進めたい。



氏家 善男

### 道路・河川愛護組合活動への育成と支援

**問** 高齢化を踏まえた道路愛護組合及び、河川愛護組合活動への支援策と育成強化について伺う。

**答** 除草活動を主とした道路愛護団体は、岩出山・古川地域に加え、平成25年度から三本木地域でも活動を開始し3団体が組織されている。

また、堤防除草を主とした河川愛護団体は、松山・三本木地域を除く5地域で44団体が組織されている。

が組織されている。

補助金については、かなり少額であると認識しており、今後、地域の実情などを把握しながら検討したい。

#### 掲載以外の主な質問項目

- ・指定廃棄物最終処分場建設の見通し
- ・側溝汚泥及び焼却灰の一時保管
- ・新図書館へのスポンサー制導入



後藤 錦信

### 伝統的工芸品の継承策

**問** 国の伝統的工芸品の指定を受けている「鳴子漆器」と「鳴子こけし」は、それぞれ後継者問題などの課題を抱えている。特に「鳴子漆器」は危機的な状況となっており、誇りあるふるさとづくりの視点からも、積極的な対応が必要と考えるが所見を伺う。

**答** 後継者問題は行政としても危惧しており、中でも「鳴子漆器」は危機的な状況と認識

している。今後、後継者の創出、後継者の育成と漆文化の普及啓発、漆産業の振興という3つの柱を立てて保存、継承に取り組むべく、平成26年度以降、関係者と綿密な協議を行っていく。

#### 掲載以外の主な質問項目

- ・新年度に向けての市政運営
- ・指定文化財の現状と取り組み



鳴子の伝統的工芸品



佐藤 清隆

### 日本一の自治体病院を目指して

**問** 市民病院は、ある週刊誌の「頼れる病院ランキング」において、全国の自治体病院中11番目であり、新病院開院を契機に、日本一になれる可能性があると見るがどうか。

**答** 自治体病院ランキングでは、北海道・東北地区で第1位となった。

開院後の新病院は、施設や機器などが一新され、医療機能や効率が大きく向上する。

自治体病院の頂点を目指し、市民が誇れる病院づくりに邁進する。

#### 窓口接遇態度の改善

**問** 市役所の窓口で、たらい回しやつつげんなどんな対応をされたとの訴えがある。親切な対応をすべきでは。

**答** 来庁者の接遇には、今後とも特に配慮していきたい。



大友 文司

### 夜間急患センター

**問** 夜間急患センターは、平成26年9月頃に開設する構想になっているが、現在どのような運営体制で臨もうとしているのか伺う。

**答** 開設にあたり、平成25年6月に開設準備委員会を設置した。最大の課題は、医師の診療体制確保であり、医師会、市民病院などの協力体制を調整している。

開設時期は、平成26年10月

#### 納税貯蓄組合

頃を目途にしたい。診療科目は、内科と外科の体制で考えている。

**問** 市民は納税の義務を果たすため、納税貯蓄組合をつくって協力している。組合は、地域コミュニティも担っており、市も協力すべきでは。

**答** 納税貯蓄組合に対し、新たな支援策を調査検討したい。



新市民病院の建設現場 (H26.1.6現在)

**問** 現在の状況と処理対策についての考えは。

**答** 平成25年10月に簡易測定した結果、民間最終処分場の泥土受け入れ基準の自主規制値を超えた数値があるため、依然として泥土受け入れが出来ない状況である。

**問** 市街地において、統一清掃などでの水路汚泥が上げられない状態が、3年にも及んでいる。

**答** 現在の状況と処理対策についての考えは。



青沼 智雄

### 統一清掃等での汚泥処理対策

なお、平成26年春の統一清掃に向けては、まず26年1月に泥土の精密検査を実施する。その結果を、関係機関や関係団体で構成されている統一清掃実行委員会に諮り協議を重ねながら、早期に側溝清掃が再開できるように進めて参りたい。



遊佐 辰雄

### 道路・橋梁等の老朽化対策

**問** 鳴子温泉地域の川渡大橋は、架け替えの方が良い。大型車が交差できなければ、改修の意味がないのでは。

**答** 現在、補修か架け替えにするか検討中である。

**問** 三幸(みゆき)橋も大型車が通行できるようにすべきではないか。

**答** 当面は大丈夫だが、塗装と部品交換をする計画である。

架け替えは今後検討していく。

**人工透析装置の整備**

**問** 人工透析患者が増えているが、大崎市では古川地域の医療施設にしかない。他の地域にも設置すべきでは。

**答** 患者の動向や医療施設のあり方、医療分担や役割などを模索していく。



老朽化した川渡大橋（鳴子温泉地域）

### 第4回定例会

議会中継  
(LIVE)  
アクセス件数  
**1,052**  
件

### 第4回定例会

傍聴人数  
**107**人  
※皆様の傍聴をお待ちしております。

### 意見が分かれた議案の賛否一覧

- 請願第 2号 東北電力女川原子力発電所の再稼働を許さず、廃炉にすることを要請する意見書を、国会及び関係する国・県の機関に提出することを求める請願
- 請願第 3号 古川地区またはその周辺に、一日も早いパークゴルフ場の設置を求める請願
- 請願第 4号 フッ化物での集団洗口を導入しないことを求める請願
- 議案第189号 消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書
- 議案第190号 消費税増税の中止を求める意見書
- 議案第191号 東北電力女川原子力発電所の再稼働を許さず、廃炉にすることを要請する意見書

議員名	議決結果	議員名																																			
		八木吉夫	佐藤弘樹	中鉢和三郎	相澤久義	鎌内つぎ子	加藤善市	横山悦子	関武徳	遊佐辰雄	佐藤講英	只野直悦	相澤孝弘	富田文志	齋藤博	山田和明	後藤錦信	山家善男	山村康治	門間忠	木内知子	小堤正人	豊嶋正人	青沼智雄	佐藤和好	高橋憲夫	三神祐司	小沢和悦	大友文司	佐藤勝	大山巖	佐藤清隆	佐々木惟夫	木村和彦	栗田彰		
請願第 2号	可	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第 3号	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第 4号	否	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第189号	可	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議
議案第190号	否	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第191号	可	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議

「可」→ 可決、「否」→ 否決、「○」→ 賛成、「×」→ 反対、「議」→ 議長



## 第4回定例会

## 話し合う協働のまちづくり条例等全会一致で可決

今定例会には、市長提出の平成25年度大崎市一般会計補正予算をはじめとする予算案8件、条例案6件、報告5件、その他40件及び議員提出議案7件が提出されました。

このうち、議員提出の議案第190号は否決され、その他の議案及び決議案第1号は原案のとおり可決されました。また、請願3件の審議も行われ、請願第2号及び請願第3号は採択となり、請願第4号は不採択となりました。

## 報 告

- 報告第29号、報告第31号、報告第32号 専決処分の報告について  
交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの。
- 報告第30号 専決処分の報告について  
工事請負契約の変更契約を締結するもの。
- 報告第33号 専決処分の報告について  
公の営造物の管理の瑕疵に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの。

## 予 算

- 議案第131号 平成25年度大崎市一般会計補正予算（第5号）…**原案可決**  
まちづくり基金積立金等1,990万9,000円を追加し、総額を650億439万3,000円と定めるもの。
- 議案第132号 平成25年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）…**原案可決**  
償還金等2億752万6,000円を追加し、総額を151億6,089万1,000円と定めるもの。
- 議案第133号 平成25年度大崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）…**原案可決**  
保険料還付金60万円を追加し、総額を12億1,596万9,000円と定めるもの。
- 議案第134号 平成25年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）…**原案可決**  
家族介護用品給付扶助費610万円を追加し、総額を102億5,822万1,000円と定めるもの。
- 議案第135号 平成25年度大崎市下水道事業特別会計補正予算（第2号）…**原案可決**  
一般管理費等725万1,000円を減額し、総額を55億6,248万7,000円と定めるもの。
- 議案第136号 平成25年度大崎市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）…**原案可決**  
浄化槽設置工事費等4,195万円を追加し、総額を4億2,448万8,000円と定めるもの。
- 議案第137号 平成25年度大崎市水道事業会計補正予算（第2号）…**原案可決**  
収益的支出予定額36億5,989万2,000円を変更せず、債務負担行為を追加するもの。
- 議案第138号 平成25年度大崎市病院事業会計補正予算（第2号）…**原案可決**  
医業費用997万3,000円を追加し、収益的支出予定額を174億7,567万3,000円に、病院建設事業費8億4,600万円を追加し、資本的支出予定額を188億5,448万円と定めるもの。

## 条 例

- 議案第139号 大崎市話し合う協働のまちづくり条例…**原案可決**  
大崎市におけるまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、話し合いを基本とした協働のまちづくりを推進するため制定するもの。
- 議案第140号 大崎市古川カントリーエレベーター条例…**原案可決**  
東日本大震災の被災農業者のための多目的カントリーエレベーターを公の施設として設置するもの。
- 議案第141号 大崎市特別職の職員で常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例…**原案可決**  
情報公開審査会及び個人情報保護審査会の報酬を年額から日額に改めるもの。
- 議案第142号 大崎市社会教育委員設置に関する条例の一部を改正する条例…**原案可決**  
社会教育法の改正により、社会教育委員の委嘱基準が条例に委任されたことから改正するもの。
- 議案第143号 大崎市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例…**原案可決**  
地方青少年問題協議会法の改正により、青少年問題協議会の会長及び委員の要件が条例に委任されたことから改正するもの。
- 議案第144号 大崎市建築基準条例の一部を改正する条例…**原案可決**  
災害が東日本大震災である場合は、建築確認申請手数料等の減免期間を平成27年3月31日まで延長するもの。また、建築物が福島復興再生特別法に規定する避難指示区域にある福島第一原発事故により帰還困難区域の指定を受けた被災者を減免対象に加えるもの。

## そ の 他

- 議案第145号 工事請負契約の変更契約の締結について…**原案可決**  
古川東中学校環境整備工事（土木）請負契約の一部変更について、議会の議決を求めるもの。



### そ の 他

- 議案第146号** 工事委託に関する協定の変更協定の締結について…**原案可決**  
大崎市公共下水道古川李塚雨水排水ポンプ場機械・電気設備建設工事委託に関する協定の一部変更について、議会の議決を求めるもの。
- 議案第147号** 財産の取得について…**原案可決**  
災害公営住宅として、古川十日町地内の共同住宅を取得するため、議会の議決を求めるもの。
- 議案第148号～議案第151号** 訴えの提起（裁判上の和解を含む）について…**原案可決**  
市営住宅の明渡し及び滞納家賃の支払い請求に関し、裁判所に訴えを提起するため、議会の議決を求めるもの。
- 議案第152号** 美里町に公の施設を設置すること及び公の施設を利用させることの協議について…**原案可決**  
大崎市と接する美里町の一部に本市の上水道施設を設置し、同町の住民に利用させることの協議をするもの。
- 議案第153号** 美里町に公の施設を設置させること及び公の施設を利用することの協議について…**原案可決**  
美里町と接する大崎市の一部に平成26年1月1日から同町に上水道施設を設置させること及び本市の住民が利用することの協議をするもの。
- 議案第154号～議案第183号** 指定管理者の指定について（大崎市三本木上三区コミュニティセンター、同新町コミュニティセンター、同伊賀集会所、同南谷地集会所、同北町地区コミュニティセンター、同南町地区コミュニティセンター、同下三区地区コミュニティセンター、同混内山集会所、同仲町地区コミュニティセンター、同蒜袋集会所、同伊場野地区コミュニティセンター、同多田川集会所、同南新町コミュニティセンター、同新沼地区コミュニティセンター、同ふるさと研修センター、大崎市鹿島台本地老人憩いの家、同三ツ屋上地コミュニティセンター、同福芦集会所、同大沢鷹待嶽集会所、同長根コミュニティセンター、同東平渡集会所、同杉ヶ崎創作館、同深谷創作館、同岩淵創作館、同川前地区老人憩いの家、同志田谷地老人憩いの家、同里船越コミュニティセンター、同御屋敷コミュニティー消防センター、同長寿生活支援センターゆうゆう館、大崎市大貫デイサービスセンター、大崎市認知症高齢者グループホームひだまり）  
…**原案可決**  
大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例に基づき、団体の選定について議会の議決を求めるもの。
- 議案第184号** 工事請負契約の締結について…**原案可決**  
大崎市デジタル防災行政無線システム整備工事の請負契約締結について、議会の議決を求めるもの。
- 決議案第1号** 議案第187号工事請負契約の締結についてに対する附帯決議…**原案可決**  
デジタル防災行政無線システム整備事業完了年度までに、さらに地域事情に合わせた補完システムの整備を拡充することを求める決議。

### 請 願

- 請願第 2号** 東北電力女川原子力発電所の再稼働を許さず、廃炉にすることを要請する意見書を、国会及び関係する国・県の機関に提出することを求める請願…**採択**
- 請願第 3号** 古川地区またはその周辺に、一日も早いパークゴルフ場の設置を求める請願…**採択**
- 請願第 4号** フッ化物での集団洗口を導入しないことを求める請願…**不採択**

### 意 見 書

- 議案第185号** 「要支援」認定者の訪問介護、通所介護を、介護保険給付対象から外さないことを求める意見書…**原案可決**
- 議案第186号** 免税軽油制度の継続を求める意見書…**原案可決**
- 議案第187号** コメの需給及び価格の安定に国が責任を持つこと等を求める意見書…**原案可決**
- 議案第188号** 地方交付税の別枠加算の存続等を求める意見書…**原案可決**
- 議案第189号** 消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書…**原案可決**
- 議案第190号** 消費税増税の中止を求める意見書…**否決**
- 議案第191号** 東北電力女川原子力発電所の再稼働を許さず、廃炉にすることを要請する意見書…**原案可決**

### 第4回定例会 議案審議

平成25年第4回定例会は12月5日に招集され、12月17日までの13日間の日程で行われました。  
議案審議の要旨については次のとおりです。

#### 話し合う協働の まちづくり条例

**問** なぜ今、条例制定なのか。その背景と運用は。

**答** 本市誕生から7年8カ月、事業や活動を通じて、継続性や自主性の高い自治を育み、市民と行政との協働のパートナーシップ会議に関する指針を策定するなど、話し合いを大切にした協働の仕組みづくりを進めてきた。  
これを制度として、さらに確立することが肝要と考えた。運用は慎重に行いたい。

#### 道路橋梁維持費

**問** 補正内容は。

**答** 市内700基を超える道路照明灯の電気料の値上がり分と、

古川地域の大幡・江合地区の幹線排水路の土砂の浚せつ委託料である。

**問** 冠水被害から両地区を守るには、下流整備を併せて行わないと抜本的解決はないと考えるかどうか。

**答** 系統だった整備に、平成26年度から着手する。

#### 指定寄附金

**問** 指定の内容は。

**答** 2社1名の方からの寄附金2千300万円で、本市で音楽が聞こえる都市(まちづくり)を目指していることから、市内全中学校へ楽器を、他に暗幕、大型プリンター、学校図書など、全て教育予算に充当した。

#### 古川カントリー エレベーター条例

**問** ①想定品目の中に飼料米は入るのか。②使用料は他施設と整合性を図るべきでは。③他のJAは使えないのか。

**答** ①米穀を乾燥調製する多目的カントリーエレベーター(CE)である。今は主食米

に限るが、将来関係団体と話し合う。②指定管理にした場合、他と同一料金の60キログラム当たり1千700円以内をしたい。③基本は古川地域の被災農家に充てるが、余裕があれば調整する。



古川CE建設予定地(古川地域上坪地区)

#### 子ども・子育て支援計画 策定事業

**問** 事業内容と策定期間は。

**答** 平成27年度に導入する子ども・子育て新制度対応のための、電算システム改修である。入所業務が大きく変更になるため、11月に9歳以下の児童の保護者に対し新制度への調査を実施し、12月20日に第1回子ども・子育て会議を開催する。

平成26年度に業務委託、27年度事業実施予定である。

#### 病院建設事業費

**問** 工事請負費高騰分の内訳と、さらなる高騰の可能性は。

**答** 作業費の労務費高騰分8億4千600万円で、本館分が7億6千600万円、エネルギーセンター分が8千万円である。新たな増額は考えていない。

#### 都市計画調査費

**問** 調査内容と道路整備の見通しは。

**答** 三本木の地元企業増設計画に伴う大型車両運行倍増のための、交通量や測量などの調査設計委託料である。  
円滑な事業運営と市民の安全確保のため、市道境堀線の改良工事も含め、平成27年度の工事着手を考えている。

#### 地域の元気 臨時交付金の活用

**問** 交付金の使途と、その約半分を充てたまちづくり基金の充当先は。

**答** 10月に決定された6億4千698万3千円の交付金は、排水路改良整備事業、小中学校

改修事業、文化施設改修事業等社会基盤整備事業に充てられ、うち3億1千908万3千円の基金は幅広く使えるため、平成26年度予算編成作業で事業選定したい。

#### 職員人件費

**問** 総額1億7千411万5千円という大幅な減額理由は。

**答** 予算編成後、13名の退職者があつたのが主な理由である。

**問** 職員1人の仕事量が増え、残業が恒常化している現在、定員適正化計画の実態に即した見直しをすべきではないか。

**答** 総事業を考えての計画である。平成27年4月1日まで958名にすることは、当分維持したい。

#### 浄化槽整備事業

**問** 整備状況と年度末までの設置見込みは。

**答** 当初予算で290基分計上したが、住宅建設がかなり多く、昨年を上回るペースでの申請のため、50基分の4千150万円を補正計上した。

問

地域による災害の特異性

デジタル防災無線



さをり織りでのトレーニング (たてやま)

障害児福祉サービス事業

問 事業内容と今後の整備見通しについては。

答 平成24年度から創設されたもので、障害児の学校の放課後や長期休業時のデイサービス事業である。

システム変更により利用しやすくなったため、当初の見込みから大幅に増え、700名を超える見込みとなった。

市内の受け入れ施設は現在6事業所だが、整備の充実については、26年度の福祉計画策定の中で検討したい。

答 を考慮した整備内容なのか。地域特性はプロポーザルの提案要件にも盛り込んでおり、緊急メールや固定電話等への自動応答システムを考えている。今後、事業者とも補完システムの協議を重ねたい。

問 屋外拡声子局では、十分に情報を周知できないのでは。

答 戸別受信機を一部に配備する以外に、災害時の臨時FM局の拡大やテレビを活用したエリア放送で対応したい。

問 戸別受信機を全戸配備している地域の担保はどうか。

答 現在のアナログ型受信機は平成28年度まで使用できる。この間に地域での協議を進め、補完システムを構築したい。

議案第184号に対する附帯決議の要旨

大崎市デジタル防災行政無線システム整備工事に当たっては、補完システムとしての戸別受信機の整備が、行政区長宅や自主防災組織長宅の432カ所に限定されており、十分な防災機能を果たすものになっていないことから、地域事情に合わせた補完システムの整備を拡充することを強く求めるもの。

討論

請願第2号 東北電力女川原子力発電所の再稼働を許さず、廃炉にすることを要請する意見書を、国会及び関係する国・県の機関に提出することを求める請願

賛成

原発の再稼働を止めてほしい最大の理由は、原発が事故を起こす可能性があるからである。

もし、原発の新規制基準をクリアして再稼働したとしても絶対に大丈夫だということではなく、既に原子力安全神話も崩壊している。

原発依存から、再生可能エネルギーによる電力供給に本格的に取り組めば、短時間でやれる可能性はある。安全・安心な原発事故の心配が無いところに住みたいという願いを、議会に伝えてほしいという請願内容でもあり、本請願に賛成する。

反対

原発を廃炉にすれば、放射能被害は無くなる。

しかし、原発廃炉に伴うコストは莫大な金額となる上、火力発電の依存度を増せば、経済、環境など多方面に大きな懸念が生じる。

本市においても、雇用の縮小や電力コスト上昇に伴う物価の高騰など、原発ゼロによる大変なデメリットとリスクを抱えることになる。

現実問題を率直に訴えることも議員としての責務であり、本請願に反対する。

討論

請願第4号 フッ化物での集団洗口を導入しないことを求める請願

賛成

フッ化物での集団洗口については、有害な物質であり過剰摂取した場合の危険性の指摘がある一方で、適量の範囲内で上手に使用すれば高い安全が確保されるとの意見があり、歯科医師の間でも賛否両論のある難しい問題である。

WHO(世界保健機関)は、誤飲による事故を考慮して6歳未満児には洗口を禁止事項としている。

また、むし歯は減ってきていることから、市民の安全・安心を考え、賛否両論があり事故事例もあるフッ化物での集団洗口は導入すべきでないという考えのもと、本請願に賛成する。

反対

フッ化物での集団洗口は、WHOをはじめ、適切に行われた場合のむし歯予防方法として、安全で最も有効な公衆衛生的方策であると認められている。

また、本市では1歳6カ月健診と2歳6カ月健診で、保護者の同意を得た上で約9割の幼児がフッ化物塗布やブラッシング指導を受けており、これまでもむし歯予防策として取り組んできている。

さらに、未来を託す子どもたちの健康づくりとして、「フッ化物洗口導入モデル事業」に参加したいとの意向もあることから、本請願の採択に反対する。

# 平成25年度会派活動報告

平成25年4月から12月までに実施した、各会派の政務活動の概要は次のとおりです。

また、会派活動全般のうち、公費である政務活動費を使用した、先進地調査・広報活動などについての掲載しています。

## 大崎ニューネット

【会員数8名】

後藤錦信 氏家善男 只野直悦 佐藤弘樹 木村和彦 青沼智雄 佐藤和好 三神祐司

## 改新クラブ

【会員数6名】

門間忠 小堤正人 中鉢和三郎 齋藤博 佐藤清隆 大山巖

## 公明党

【会員数2名】

山田和明 横山悦子

■平成25年7月2日～4日

- 保育園の民営化について (北海道恵庭市)
- 北彩都あさひかわについて (北海道旭川市)
- 太陽光発電所・施設整備について (北海道江別市)

※大崎ニューネット会派・公明党会派は、政務活動(報告分)を合同で実施

## 大志会

【会員数5人】

山村康治 相澤孝弘 相澤久義 関武徳 富田文志

## 会派に属さない議員

佐藤勝

- 平成25年7月21日～23日 焼酎の蒸留製造について (大分県日田市)
- 姉妹都市交流の推進について (愛媛県宇和島市)

● 大規模災害時における行政の役割について (大阪府田尻町)

※大志会会派・会派に属さない議員は、政務活動(報告分)を合同で実施

## 日本共産党大崎市議会議員団

【会員数4名】

小沢和悦 鎌内つぎ子 遊佐辰雄 木内知子

■平成25年10月11日

- 市議会報告チラシ作成

## セントラル大崎

【会員数3名】

高橋憲夫 佐藤講英 八木吉夫

■平成25年5月23日～24日

- 地方自治研修「政権交代と

地方自治の行方」(東京都千代田区)

■平成25年8月9日

- 講演会「日本国憲法と地方政治」開催 (大崎市三本木総合支所)
- 平成25年8月27日～28日 第11回全国地方議員交流会 (神奈川県川崎市)

## 清和会

【会員数3名】

加藤善市 大友文司 栗田彰

## 社会民主党

【会員数2名】

豊嶋正人 佐々木惟夫

■平成25年11月12日～14日

- 千代田図書館について (東京都千代田区)
- 定住促進の取り組みについて、鳥取駅前太平線再生プロジェクトについて (鳥取県鳥取市)
- 定住促進の取り組みについて、赤ちゃん登校日について (島根県江津市)

※清和会会派・社会民主党会派は、政務活動(報告分)を合同で実施

## 《会派諸活動》

これらの掲載分以外にも、各会派においては自費での政務活動をはじめ、管内及び先進地視察・研修会・政策勉強会などを、積極的に随時行っています。

なお、政務活動費の収支報告書、活動概要報告書は、翌年度に取りまとめた上で市議会ホームページに掲載しています。

## 公職選挙法のはなし

公職選挙法では、次の禁止事項を規定しております。市民皆様の御理解をお願いいたします。

- ◎ 政治家の寄附禁止
- ◎ 政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止
- ◎ 後援団体の寄附の禁止
- ◎ 年賀状等のあいさつ状の禁止
- ◎ あいさつを目的とする有料広告の禁止

# 常任委員会活動報告

平成25年1月から12月までに実施した、各常任委員会の活動及び行政視察の主な内容を紹介します。

(◎ 委員長、○ 副委員長)

## 総務常任委員会

〔委員数8名〕

- ◎ 富田文志 ○ 遊佐辰雄 佐藤講英 只野直悦 相澤孝弘 山田和明 佐藤和好 佐藤清隆

### 行政視察

平成25年8月21日

〔佐賀県唐津市〕

- ① 近代図書館の運営について
- 平成25年8月22日
- 〔佐賀県武雄市〕
- ② 指定管理者制度による図書館運営について

平成25年8月23日

〔福岡県春日市〕

- ③ コミュニティスクールの取り組みについて

### 会議・調査視察等

平成25年2月1日

- ① 平成25年度総務部、市民協働推進部、教育委員会重点事業の概要について



武雄市図書館（佐賀県武雄市）

- ② 組織機構の改編について
- 平成25年3月6日

- ① 議会報告会の回答取りまとめについて
- 平成25年5月28日

- ① コミュニティFMを活用した市政情報の提供について

- ② 公有財産台帳システム整備事業について

- ③ 市民意識調査について
- ④ (仮称) 協働のまちづくり条例について

- ⑤ 地域防災計画の概要について

- ⑥ 東日本大震災に係る災害等廃棄物処理業務について

- ⑦ 大崎市図書館等複合施設建設事業について

- ⑧ 寄附受納について

- 平成25年7月17日

- ① 行政視察について
- 平成25年8月29日

- ① 平成24年度決算の概要について
- 平成24年度市税等収納率向上対策について

- ③ (仮称) 協働のまちづくり条例について

- ④ 東日本大震災復興交付金(第6回)の申請結果について

- ⑤ 古川東中学校給食調理業務の委託について

- ⑥ 勤労青少年ホームを公民館に転用することについて

- 平成25年8月29日(調査視察)

- ① 新築された古川第一小学校校舎の現状について

- ② 改築された敷玉小学校屋内運動場の現状について

- 平成25年9月19日

- ① 議会報告会の回答取りまとめについて

- 平成25年9月27日
- ① 議会報告会の回答取りまとめについて
- 平成25年11月25日
- ① 話し合う協働のまちづくり条例について

- 平成25年12月5日

- ① 付託請願の審査(請願第3号 古川地区またはその周辺に、一日も早いパークゴルフ場の設置を求める請願)

- 平成25年12月12日

- ① 請願第3号の審査
- 平成25年12月16日

- ① 請願第3号の審査

- ① 請願第3号の審査

## 民生常任委員会

〔委員数9名〕

- ◎ 横山悦子 ○ 大友文司 相澤久義 加藤善市 後藤錦信 豊嶋正人 小沢和悦 大山巖 木村和彦

- 平成25年10月21日

- 〔静岡県掛川市〕
- ① 市民に親しまれる病院運営について
- 平成25年10月22日

- 〔神奈川県川崎市〕
- ② 待機児童解消加速化プランについて
- 平成25年10月23日

- ① 請願第1号の審査
- 平成25年2月4日

- ② 平成25年度民生部、病院事業の概要について

- 〔東京都墨田区〕
- ③ 高齢者見守り事業について



中東遠総合医療センター（静岡県掛川市）

### 会議・調査視察等

平成25年2月4日

- ① 平成25年度民生部、病院事業の概要について
- 平成25年2月19日

- ① 付託請願の審査(請願第1号 保険薬局への無料低額診療事業に関する請願)
- 平成25年2月25日

- ① 請願第1号の審査
- 平成25年5月29日

- ① 請願第1号の審査

- ② 平成25年度民生部関連施策、病院事業の概要について
- 平成25年9月4日

産業常任委員会

【委員数8名】

- ◎氏家善男 ○八木吉夫 佐藤弘樹 中鉢和三郎 鎌内つぎ子 山村康治 小堤正人 佐藤勝

行政視察

- 平成25年7月19日 (長野県飯田市)
  - ①商店街等の活性化事業について
  - ②再生可能エネルギーの導入

- ①障害福祉サービス事業の推進について
- ②大崎市子ども・子育て支援事業計画の策定について
- ③認可保育所の整備状況について
- ④東北メディカル・メガバンク事業について
- ⑤病院事業の概要について
- 平成25年9月27日
- ①議会報告会の回答取りまとめについて
- 平成25年12月5日
- ①付託請願の審査(請願第4号 フッ化物での集団洗口を導入しないことを求める請願)
- 平成25年12月12日
- ①請願第4号の審査

- 推進について
- 平成25年7月20日 (長野県塩尻市)
  - ③地域ブランド戦略について
  - ④地場産再生可能エネルギーの利活用について
- 平成25年7月21日 (東京都台東区)
  - ⑤新観光ビジョンについて
  - ⑥省エネルギー、新エネルギーの推進について

会議・調査視察等

- 平成25年1月17日
  - ①企業誘致促進事業(北原工業団地)の進捗状況について
  - ②地域ブランド創出事業(シティブロモーション)の進捗状況について
  - ③物産振興事業(観光物産センター)の進捗状況について
- 平成25年2月7日
  - ①平成25年度の重点施策について
- 平成25年2月13日
  - ①議会報告会の回答取りまとめについて
- 平成25年5月8日
  - ①平成25年度の重点施策について
- 平成25年9月5日
  - ①大崎市の産業振興に向けた

- 再生可能エネルギー導入方針について
- ②FAO世界農業遺産システム(GIAHS)の認定に向けた取り組みについて
- 平成25年9月13日
- ①付託請願の審査(請願第2号 東北電力女川原子力発電所の再稼働を許さず、廃炉にすることを要請する意見書を、国会及び関係する国・県の機関に提出することを求める請願)
- 平成25年9月18日
- ①議会報告会の回答取りまとめについて
- 平成25年9月24日
- ①請願第2号の審査



放射能除染作業(福島県飯館村)



飯館村飯野出張所での調査視察

建設常任委員会

【委員数8名】

- ◎齋藤博 ○高橋憲夫 関武徳 門間忠 木内知子 青沼智雄 三神祐司 佐々木惟夫

行政視察

- 平成25年5月17日
  - ①平成25年度建設部、水道部所管事業の概要と今後の進捗予定について

- 平成25年7月10日 (兵庫県明石市)
  - ①明石市総合浸水対策計画について
  - ②明石市中心市街地活性化基本計画について
- 平成25年7月11日 (香川県高松市)
  - ③高松丸亀町商店街市街地再開発事業について
- 平成25年7月12日 (愛知県岡崎市)
  - ④雨水排水対策について

会議・調査視察等

- 平成25年10月1日
  - ①請願第2号の審査
- 平成25年10月22日(調査視察)
  - ①請願第2号審査のための調査(福島県飯館村)
- 平成25年11月14日
  - ①請願第2号の審査
- 平成25年12月10日
  - ①委員長の辞任について
- 平成25年4月18日(調査視察)
  - ①議会報告会での意見、要望事項の現地調査について(古川地域、鹿島台地域)
- 平成25年5月17日(調査視察)
  - ①議会報告会での意見、要望事項の現地調査について(石出山地域、鳴子温泉地域)

平成25年11月7日  
①平成25年度建設部所管事業の進捗状況について



李埵雨水排水ポンプ場（古川地域）

- 平成25年9月4日
- ①平成25年議会報告会の取りまとめについて
- ②建設部、水道部所管事業の進捗状況と今後の見通しについて
- ③水道事業の入札結果（1千万円以上）について
- 平成25年11月7日（調査視察）
- ①議会報告会での意見、要望事項の現地調査について
- ②李埵雨水排水ポンプ場及び榆木雨水ポンプ場の現状について

## 請願・陳情される方へ

市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させる方法として、市議会への「請願」「陳情」の制度があります。

「請願」「陳情」は、いつでも受付いたしますが、手続等については、議会事務局（TEL 5 2 - 5 8 3 8）にお問い合わせください。

### 請願・陳情のしかた

#### 請願

紹介議員1人以上の署名または記名捺印あればどなたでも提出することができます。

#### 【書き方・注意点】

- ①請願の件名（〇〇に関する請願）
- ②請願の趣旨・理由
- ③請願者の住所、氏名（法人の場合には、その名称及び代表者の氏名）、提出年月日を記載し、押印してください。
- ④紹介議員1名以上の署名または記名押印を受けてください。

#### 陳情

陳情書は、議員の紹介が必要ありませんので、紹介議員の箇所を除いて、請願書の例を参考に提出してください。

※当該定例会に伴い議会運営委員会が開催されます。その2日前の午後1時まで提出された請願は、その定例会の会期中に審議されます。

#### 【様式例】

〇年〇月〇日

大崎市議会議長 ○○○○ 殿

紹介議員（請願のみ）氏名○○○○印

請願（陳情）者

住所 ○○○○○○○○

氏名（代表者） ○○○○印

○○○○○に関する請願（陳情）

1 請願（陳情）の趣旨  
○○○○○○○○○○○○○  
※願意を簡明に記載してください。

2 請願（陳情）の理由  
○○○○○○○○○○○○○

## 議会の主な動き

29日	28日	23日	22日	9日	1月	26日	17日	16日	13日	12日	11日	10日	9日	5日	2日	12月	25日	11月	
産業常任委員会	市民病院建設調査特別委員会	建設常任委員会	民生常任委員会	総務常任委員会	情報化対策特別委員会	情報化対策特別委員会	本会議	総務常任委員会	本会議	議会運営委員会	民生常任委員会	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	議会運営委員会	市民病院建設調査特別委員会	総務常任委員会

## 編集を終えて

年があらたまり、新  
生大崎市誕生後、丸8  
年の節目を迎える事と  
なります。このことから、  
平成25年12月議会は、  
新市建設計画の進捗状  
況を聞いたただ議論が  
あったほか、合併の目  
玉である、「大崎市流  
地域自治組織」に関し、  
「大崎市話し合う協働のま  
ちづくり条例」も制定され  
たところです。

京セラの稲盛和夫会長は、  
「人の運命は生まれながら  
に定まっているが、因果の  
法則があつて善きことを考  
え、善きことを行えば運命  
は好転する」と説いていま  
す。大崎市の素晴らしい未  
来のためにも、私たち議会  
は、善きことを想い、善き  
ことを行いたいものです。

### ◆情報化対策特別委員会◆

- 委員長 佐藤 弘樹
- 副委員長 木内 知子
- 委員 八木 吉夫
- 相澤 久義
- 佐藤 久義
- 只野 久義
- 高橋 直英
- 大山 憲夫
- 高橋 憲夫